

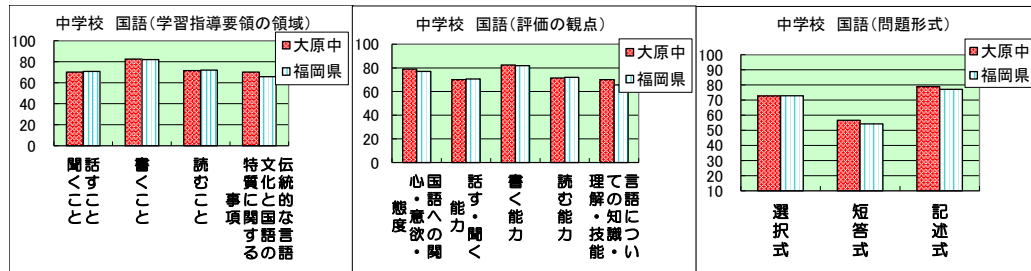


令和元年度 全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査の結果について

中学3年生を対象に文部科学省が実施しました「全国学力・学習状況調査(国語・数学・英語)」(平成31年4月18日)及び中学1・2年生を対象に福岡県教育委員会が実施しました「福岡県学力実態調査(国語・数学)」(令和元年6月18日)の結果についてお知らせします。それぞれの教科の領域等に関する全体的傾向と課題についてお知らせします。

3年 国語科

国語については、**全国・県平均を1.0ポイント上回っています**。また、各領域・観点別の正答率を比較した場合も、**概ね全国・県平均を上回っている状況です**。

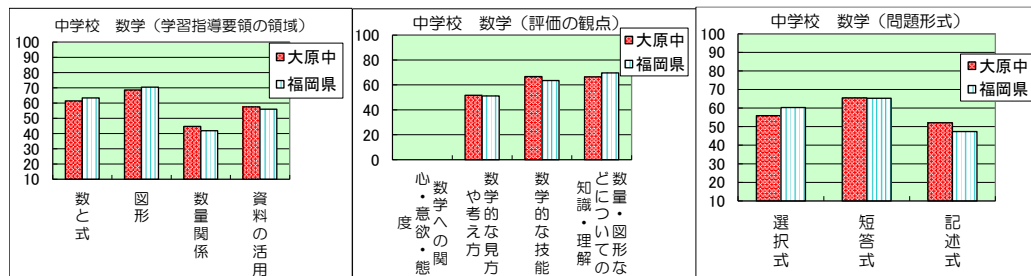


「国語への関心・意欲・態度」「言語についての知識・理解・技能」の観点や「記述式」がよく

きてる一方で、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること」や「話す・聞く能力」を確かめる設問において全国・県平均を下回っており、さらにそれらの力が高まるよう取り組んでいきます。

3年 数学科

数学については、**全国・県平均と同じです**。また、各領域・観点別の正答率を比較した場合も、**概ね全国・県平均と同じで**、具体的には「数量関係」「資料の活用」の

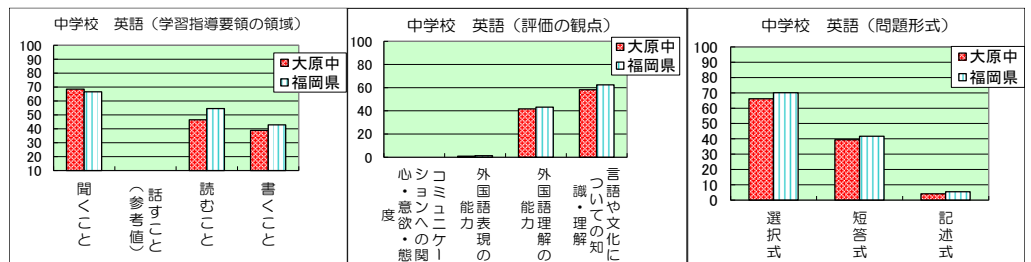


知識・理解」「選択式」の設問において全国・県平均を下回っており、今後それらの基礎・基本

の定着に一層力を入れていきます。

3年 英語科

英語科については、**3.0ポイント、全国・県平均を下回る**という結果となっ

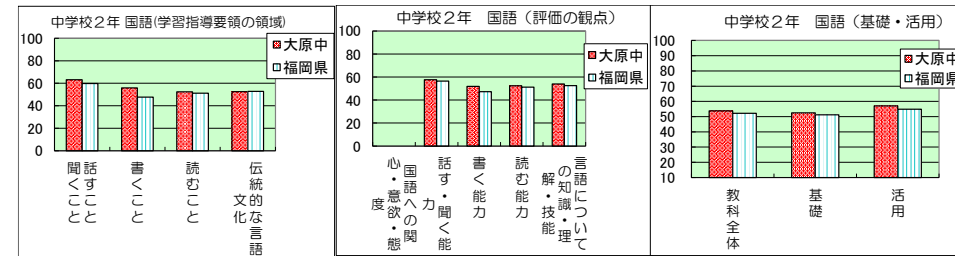


ており、課題です。また、各領域・観点別の正答率を比較した場合は、「聞くこと」の

領域はよくできていますが、「読むこと」「書くこと」に課題があり、それらの定着を図る授業づくりに努めます。また、基礎・基本の定着に向け、週末課題等も含め、一層力を入れて取り組んでいきます。

2年 国語科

2年生の国語では、**県平均を1.6ポイント上回っています**。「書くこと」の観点、領域が大変よくできる一方で、「読む能力」「語句の意味を理解し文脈の中

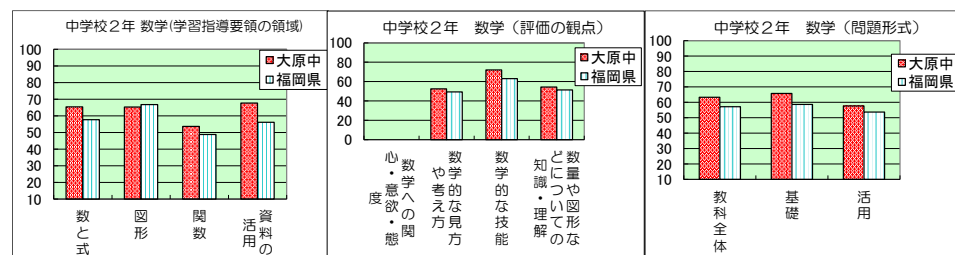


で適切に使う」を問う設問に課題があります。今後さらにそれらの力が高まるよう取り組んでいきます。

2年生の数学では、

2年 数学科

県平均を6.1ポイント上回っています。また、各領域・観点別においても、**全て県平均を上回っており、良好です**。特に「資料の活用」「数学的な技能」の領域、観点が

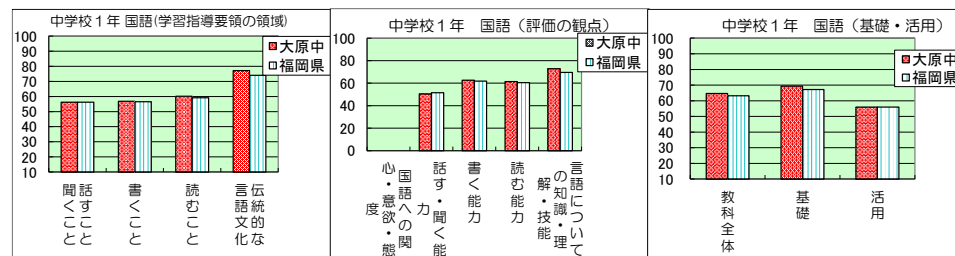


一方で、「図形」の観点の設問に課題があり、今後、それらの基礎・基本の定着に向け取り組んでいきます。

1年生の国語では、

1年 国語科

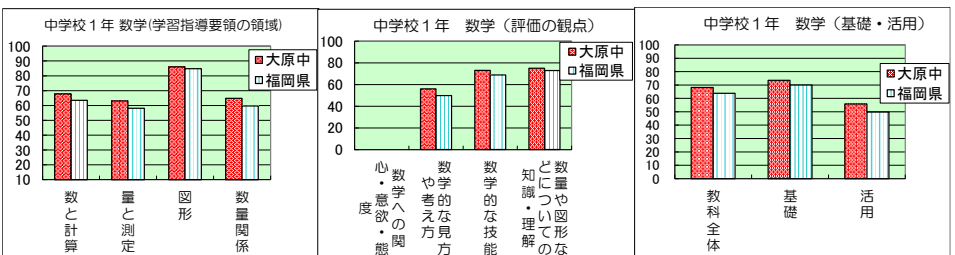
県平均を1.5ポイント上回っています。また、各領域・観点別においても、**概ね県平均を上回っています**。「伝統的な言語文化」の領域がよくできている一方で、「筆者の考えが明確に示



されている部分」に着眼して考えること」の設問に課題があります。今後さらにそれらの力が高まるよう取り組んでいきます。

1年 数学科

1年生の数学では、**県平均を4.3ポイント上回っています**。特に、**活用問題では、県を6.1ポイント上回っています**。また、各領域・観点別においても、**全て県平均を上回っています**。具体的には、「数量関係」の領域や「数学的な見方や考え方」の観



点がよくできています。一方で課題としては、「小学校で学習した減法と乗法の混在した、末尾のそろっていない少数の減法計算」「割合についての理解」

の設問において県平均を下回っており、今後それらの基礎・基本の定着に一層力を入れていきます。